令和5年度

しまつなレター

～しまだつながるプロジェクト～ 7月号

発行：島田市社会福祉協議会
住所：島田市大津通２番の１
電話：35-6244/FAX：34-3261

伊久美地区

活動の様子

「お楽しみお話し会」

今年の4月から始まった居場所「川口お楽しみお話し会」でレクリエーション講座を実施しました。
写真のお花は以前キラッとで紹介した森田さんが生けてくださったお花です。今日も公会堂を華やかにしています。
今回のレクリエーションの内容は、社協で貸し出しを行なっているソフトダーツにみんなで挑戦！
スポンジでできた矢を的に向かって投げ、得点を競います！投げるとクルクルと回る矢に皆さん悪戦苦闘。
的にうまく矢がくっついた時は、みなさん拍手で盛り上がりました。
社協ではこのようなレクグッズの貸し出しや、出前講座を行なっています！ぜひ地域の活動にご活用ください！

地域福祉団体×ボランティア団体

つながり連絡会

社協では今年度、団体同士のつながりづくりを目的として、つながり連絡会を実施！
今回お集りいただいた方は、地区社協や福祉の会、ボランティア団体の代表の方々！
今回のテーマは
「一緒に活動する仲間を増やすには」
ワールドカフェ方式でグループごと意見を出し合いました。
「まずは団体のことを知ってもらうことが大切」
「地域にあったアピールが必要」
「LINEを活用して情報交換したらどう？」
「今ある団体同士でつながりが持てたらいいね」
こんな意見から団体同士がつながれる、グループLINEを作成！団体同士がお互いの情報発信の場、共有の場として活用していきます。
今回の連絡会から団体同士の横のつながりが広がりました。

災害ボランティアセンター

災害ボランティアセンターって？

災害ボランティアセンターは、被災者の生活再建の支援を目的に、行政や企業、協力団体と連携を図りボランティアの力をつなぎ、被災者の困りごとに応じて、できることを調整していくセンターです。

R4年9月　台風15号での活動の様子

R5年６月台風２号での対応の様子

6月に発生した台風2号の際、市からの要請を受け社協では災害ボランティアセンターを立ち上げました。現地調査、ニーズ調査を職員が行いましたが、今回は被害件数が少なく、災害ボランティアの必要性がないと判断したため福祉のまちづくりセンターへ移行し、通常業務の中で対応を行いました。

社協が立ち上げるからできること

♡発災時、住民は「福祉」に著しく欠ける状態⇒普段から地域福祉推進をする社協だからこその気づきがある！
♡発災を通じて見えてくる福祉・生活課題の把握⇒他機関との連携により支援ができる！

～福祉の魅力発信～

キラッと✨福祉職

今回紹介させて頂くのは
このふたり！

島田市社協・居宅介護支援事業所
主任ケアマネ：鶴川忠章

入職10年目の主任ケアマネージャー、鶴川です。
事業所の管理者として本来のケアマネ業務のほか、介護者のつどいの開催などを行っています。

ケアマネジャーは介護を必要としている人やその家族の相談に乗り、その人の身体の状況に応じて最適な介護サービスが受けられるように介護事業所や市区町村などを調整する専門職です。

川根デイサービスセンターの生活相談員、高橋です。
利用者の皆さまやそのご家族が安心して過ごして頂けるよう心掛け、少しでも自立した生活を送れるよう関わっています。

生活相談員は利用者や家族を対象に、相談や連絡、調整を行うことが主な仕事です。また、介護職員・看護師・ケアマネ・栄養士などと連携を取って利用者の入退所の手続き・利用者や家族との面談・関係機関との連携などを行います。

川根デイサービスセンター
生活相談員：高橋尚子

しまつなカフェ
～写真の日～
＼スマホ撮影のコツを学ぼう／

参加無料

持ち物
スマホ

講師　村松遼太郎氏

7.12（水）
10:00-11:30
島田市社会福祉協議会
（島田市大津通２番の１）
３階多目的室

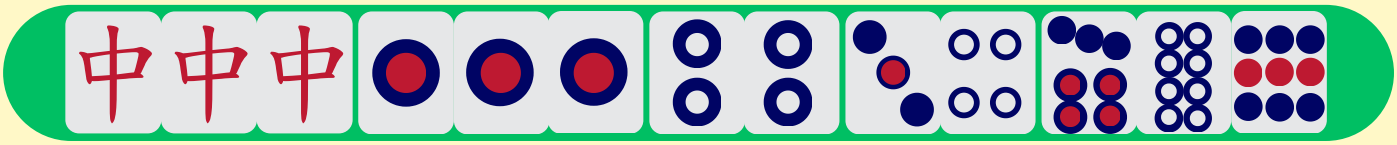
内容
★ちょこっと教える
スマホで撮影のコツ
★実際に撮影してみよう！
★おしゃべり会

先着20名様限定！
お申込みはお早めに！

島田市社会福祉協議会
地域つながり推進班
☎：３５－６２４４

森下'sコーナー　～健康麻雀編～

Qアガリ牌を当てろ



答えは次回のしまつなレターにて